

まほろば秦野通信

令和2年12月21日

タイトル	「東開戸遺跡出土琥珀大珠」、「東開戸遺跡出土翡翠大珠」を 秦野市指定重要文化財として指定しました
When (いつ)	12月18日(金曜日)
Where (どこで)	はだの歴史博物館(堀山下380-3)
Who (だれが)	市教育委員会
What (なにを)	「東開戸遺跡出土琥珀大珠」2点、「東開戸遺跡出土翡翠大珠」 1点
How (どのように)	令和2年12月定例秦野市教育委員会議において議決
Why (なぜ)	東開戸遺跡から出土した2点の琥珀大珠と1点の翡翠大珠は、その交易・流通の観点からすれば翡翠は糸魚川市周辺、琥珀は銚子市周辺よりもたらされたものと考えられ、所有者とともに集落中央の墓域に土坑内埋葬されたという様相からしても、周辺地域の縄文社会の在り方を考究していくうえで貴重な資料であり、出土例も非常に少ない事例であることから指定されました。
過去の実績	重要文化財の指定は、平成30年指定の東光寺山門(南矢名)がありました。今回の指定により市指定重要文化財は37件目となります。
今後の取り組み	はだの歴史博物館で展示するなど、周知化を図ります。
問い合わせ	生涯学習課文化財・市史担当 担当：山口 電話0463(87)9581